

CLEAN CREW



ちゅ う ら な あ 美らら沖縄

(一社)沖縄県ビルメンテナンス協会

URL <http://www.obma.or.jp>

会 報

第34号

平成28年1月

年頭会長挨拶

一般社団法人

沖縄県ビルメンテナンス協会



会長
新垣 淑典

明けましておめでとうございます。

昨年の県経済は堅調に推移する個人消費や建築投資に加え、好調な観光需要が続き観光入域客数は三年連続で過去最高を更新し、全国的にもトツクラスの成長を続けています。

一方、我が業界においては大型ショッピングモールの開業、世界的ブランドのシティリゾートホテルのオープン等により、従業員募集に際しての時給設定が上昇し、新規採用の難易度が上がり既存契約先での収益性にまで影響が出る事が懸念される状況になっています。

また大型MICE施設の建設地決定・テーマパークの沖縄進出調査の動きを受け、今年も引き続き観光関連施設の増加や大型ショッピング施設の開業が予定され、従来の客室管理のみならず一般清掃・設備管理・警備等での人員確保も更に厳しくなるものと思われます。

そのような状況の中、地域最低賃金の大幅な上昇もあり、高騰する人件費に見合った契約の設定・見直しが重要となり、その為にも従事者の資質向

上・教育訓練が肝要となります。

さらに近年増加する外国人留学生は滞在期間や就労時間に制限があり、初任者教育を徹底し現場教育の充実等業界全体で取り組まなければならぬ喫緊の課題となつてきています。

新春懇親会

平成二十八年一月二八日ホテル日航那覇グランドキャッスルにて来賓、会員百三十名の方々が参加し協会・協同組合の合同新春懇親会が盛大に開催されました。

主催者を代表し新垣会長より、会員、組合員、関係者へ日頃から協会、組合活動への協力、ご理解の感謝を述べた。続いて、沖縄県知事翁長雄



今年も協会活動の中心となる公益面の社会的貢献活動とともに、質の高いサービスを提供できる人材教育に取組み、会員の皆様と一丸となつて業界の地位向上に取り組んでいきます。

結びに本年が皆様にとって大きな飛躍の年となりますよう心より祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。



志様（代読保健医療部長 仲本朝久様）那覇市長城間幹子様（メッセーじ）、県議会副議長翁長政俊様、より祝辞を頂いた。その他内閣府特命担当大臣島尻安伊子様、衆議院議員國場幸之助様、宮崎政久様、比嘉奈津美様、西銘恒三郎様より祝電が読み上げられた。

その後、県議会議員 照屋守之様の乾杯の音頭で始まり料理に舌づつみをうちながら、生バンド演奏で懇親会に花を添え、参加者は新年の挨拶、情報交換等やか囀囲気の中、佐渡山副会長の挨拶で閉会した。

又、その日の午前中は、琉球ゴルフ倶楽部にて新春ゴルフコンペを二十八名参加のもと開催され、ダブルペリア方式で競技が行われました。宮城敦様（沖縄ビル管理株）が優勝し、交流を深めました。

第十一回環境衛生シンポジウム

第十一回環境衛生シンポジウムを十一月十七日県立博物館・美術館講堂にて会員、賛助会員、一般など一五〇名が来場し開催した。建物とそれを取り巻く衛生的かつ快適に、さらに美しく保つことに事業として携わり、美ら島沖縄の文化に貢献することを使命と考える私たち協会が、常に環境を考え学習する機会として催してきたシンポジウムも今回で十一回を迎えて改めてテーマを「私たちの建物管理は安全かつ快適か」



と題し、基調講演を琉球大学工学部環境建設工学科教授堤純一郎氏が「建築物における衛生的環境の確保に関する法律とビルメンテナンส์」と題し、ビルメンテナンส์に関する法律とビルメンテナンส์に対する期待と将来の展望についてお話を頂いた。

パネルディスカッションでは、沖縄県保健医療部生活衛生課長與那原良克氏より沖縄県の特定建築物及び立ち入り検査と行政処分の状況等を、沖縄県建築士事務所協会副会長の野原勉氏より建築物の維持管理に要する労力を最小限にする設計を行うとの話をされた。

当協会理事大嶺健太郎氏より県就業人口の推移と外国人観光客の増加に伴う業界動向等を話された。最後にコーディネーターの堤教授のリードにより、各氏から業界への課題と展望を聞いてシンポジウムを閉会した。

平成二十七年 度 ビルクリーニング技能検定講習会

ビルクリーニング講師団長

大嶺 健太郎

ビルクリーニング技能検定国家試験が、昨年に引き続き、平成二十七年 度 沖縄県において開催されました。実技・学科共に受験する者が三十四名、学科のみが五名、実技のみが一、計四十名を対象に検定試験受験対策講習を行いました。県協会は九月一日より、今年の一月九日まで事前講習会・補足講習会・直前講習会・実技・学科講習会を実施した。

それ以外にも（一社）九州建築物環境センター主催の特別講習会が十月二十日～二十四日に学科二日間、実技三日間行われ、受講者一人当たり平均、実技講習一五四時間、学科講習二十一時間、計一七五時間実施しました。



今年度は、急きよ沖縄開

催が決まったため、検定日程を従来からの予定の十二月初旬の福岡県開催を念頭に会場の手配や講師配置を行ったことと、年末年始の繁忙期に試験対応が重なったことで、十一月で検定合格レベルに技能を高めて、十二月、一月は、技能レベル維持の練習を重ねて受験する対応を図りました。

平成二十八年度からは、ビルクリーニング技能検定も複数等級として制度が見直されます。国内の従事者を対象に一級（上級レベル）、二級（中級レベル）、三級（初級レベル）、外国人技能実習生を対象に基礎レベル同時三級、基礎一級、基礎二級の階級が設けられ、初級レベルは逐次試験開催、それ以外は従来通りの年間一回の試験が予定されております。一級は厚生労働大臣、二級以下は（公社）全国ビルメンテナンส์協会長名で合格証書が発行されます。受験に際しての実務経験が一級は5年、二級は2年、三級は不問とし、三級合格者は実務経験を問われず二級受験が可能になるようです。基礎レベルについては、少子高齢人口減少対策として人手確保のための外国人技能実習制度としての運用になります。

研修旅行

ビルメンヒューマンフェア'15

今回の視察研修は平成二十七年九月十五日～十八日までの三泊四日の日程で「ビルメンヒューマンフェア五〇北海道」の視察旅行に二十四人の参加となりました。「北の大地北海道からビルの快適空間の向上を目指して」をテーマにし札幌・未来への新たな「歩」をテーマにし札幌コンベンションセンターで開催された。

八〇の企業・団体が参加し別セミナーなどが終日開催され、二日目はアジア八ヶ国、地域のビルメンテナン協会が参加する第五回アジアビルメンテナン大会も併催された。第十四回目となる全国ビルクリーニング技能競技大会には各地区予選を勝ち抜いた二十二名の選手が日本一を目指し、熱戦を繰り広げました。



審査の結果、九州地区代表（熊本県）の伊藤允二さんが優勝しました。フェア視察の後、サッポロビール園にてジンギスカン料理を堪能し、ニッカウイスキー・余市工場・小樽・函館と北海道を満喫して全員帰路の途に就きました。

「第十一回 交流野球大会」

二年に一度行われている交流野球大会を、平成二十七年十月三日（土）に西原マリノパーク多目的広場に於て、会員九チームの参加で開催されました。

毎回天気が気になるこの時期ですが、今回は晴天の下、各チーム多くの応援をもらいながら、好プレー・珍プレーの熱戦が繰り広げられました。結果は、日本野球連盟に加盟するクリード安仁屋ベースボールクラブを抱えるクリード沖繩が圧倒的な強さで優勝しました。今後、県内を代表するチームに育っていくよう業界全体で応援していきたいと思っています。



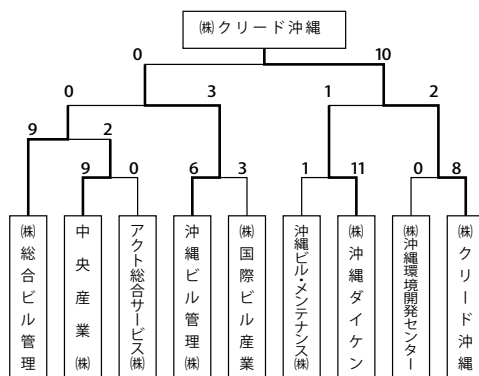
2015/10/03

第十六回

ボウリング大会

十二月四日（金）アークボウルにて十六チーム（六十四名）が参加し、ゲームと懇親会が開催され、各社を代表し熱戦が繰り広げられました。懇親会では、会員各社のご協力のもと景品のご提供頂き上位入賞者の表彰や各賞の発表等楽しい時間を過ごして頂きました。

ボウリングは参加しやすいスポーツです。次回は、更に多くの皆様のご参加を期待しております。



☆上位の成績は次の通りです。

団体優勝

(株)沖繩ダイケン

二位

アクト総合サービス(株)

三位

沖繩ビル・メンテナン(株)

個人優勝

新里 紹悟

二位

(株)沖繩ビル・メンテナン(株) 仲村 淳

三位

(アクト総合サービス(株)) 大濱 桃子

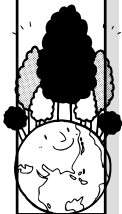
(沖繩ビル管理(株))



2015/12/04



「美ら島環境美化全県一斉清掃」



青年部長 新垣和史

平成二十七年十一月八日（日）に第二回ちゅら島環境美化全県一斉清掃を八重瀬町東風平にて実施しました。

十一月初旬にもかかわらず気温三〇度のなか会員・賛助会員三十一社百四十二名の参加がありました。

午前九時教育庁島尻教育事務所駐車場に集合、八重瀬町役場企画財政課係長・神谷武史氏も出席頂き当協会活動へのご理解と感謝の挨拶を頂きました。

清掃は二班に別れ東風平のメインストリートで

ある国道五〇七号線で約一時間半汗を流しました。

八重瀬町は毎年十二月に開催される那覇マラソンのコースでもあり、沿道で応援する方たちにも喜んでいただけるかと思えます。

全体的にゴ



ミの量も少なく、綺麗な状況でした。

今後より多くの市町村で協会活動をPRすべく、これからも会員・賛助会員のご協力を宜しくお願い致します。

平成二十七年度 県立病院ラウンドチェック

最先端品質評価部会長 山城 弘

年一回実施しております県立病院現場ラウンドチェックを九月二十四日に中部病院、二十五日に南部医療センター・こども医療センター、北部病院、精和病院、二十八日に宮古病院、二十九日に八重山病院の日程で実施致しました。

ラウンドチェックの大きな目的として、美観・環境衛生・建築物保全性の確保やクリンクルー等の業務遂行状況確認は勿論であります。我々の清掃管理全般が、院内感染予防対策に寄与した清掃管理システムになっているかの確認も含めて点検指導して参りました。

今回は宮古・八重山地区からの要請もありラウンドチェック後の実務者研修会を実施致しました。

最先端品質評価部会として、協会加盟企業全体のレベルアップを図る意味でもラウンドチェック後の実務者研修会が重要と考えます。

平成二十八年度は、南部・中部・北部地区現場を管理されている会員各社もご検討頂ければと思います。

第十五回 沖縄県障害者技能競技大会

第十五回沖縄県障害者技能競技大会が十二月五日北谷町のポリテクセンター沖縄にて開催されました。

「ビルクリーニング競技部門」の競技課題は、「弾性床清掃及び卓上清掃」が採用され、当協会の会員事業所から三名のクリンクルー及び県立沖縄高等特別支援学校から一名参加を含めた四名が参加いたしました。

入賞者は次のとおり（敬称略）

金賞 玉城 珠月 日本総合整美(株)
銀賞 山崎 順平 (株)国際ビル産業
銅賞 伊波 稜太 高等特別支援学校



平成二十七年 度

労働安全衛生大会

労働安全委員長 佐渡山 安秀

十月五日に浦添市 結の街にて

百十名の参加のもと開催、来賓の沖縄労働局健康安全課長、幸地光彦氏の祝辞、労働災害の状況の説明を頂き、引き続き山本クリニック・EAP産業ストレス研究所副所長 石原綾子氏による「ストレスチェック制度」のテーマで講演を頂きました。

その後安全標語入賞者表彰を行い(株)エージーピー沖縄、運天智一氏の「慣れた作業 油断と過信は 事故のもと」が優秀賞に入賞し最後に労働災害「ゼロ」を目指し、労働安全宣言を参加者全員で唱和し大会を閉会しました。



協会活動日誌

日 時	活動内容	参加数	参加者	備 考
8月6日	第3回総務・経営委員会	6名	会長・委員	協会2F 会議室
8月13日	第4回入札問題検討委員会	6名	委員	協会2F 会議室
8月13日	第5回理事会・代表者会議	35名	会長・理事・監事・代表者	沖縄県卸商業団地組合 会議室
8月21日	清掃作業従事者研修講習会(北部)	14名	講師・受講者	名城大学 研究棟
8月25日	第4回総務・経営委員会	6名	会長・委員	協会2F 会議室
9月1日	平成27年度ビルクリーニング技能検定 事前講習会	39名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
9月4日	第11回交流野球大会 監督者会議	16名	委員・監督	協会2F 会議室
9月8日	第3回労働安全委員会	5名	委員	協会2F 会議室
9月9日	清掃作業従事者研修講習会(中部)	20名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
9月10日 ～11日	清掃作業従事者研修指導者講習会 (新規・再講習)	56名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
10月22日	ビルメンフェアin北海道研修旅行	31名	会員	北海道札幌市
9月24日 ～25日	県立病院ラウンドチェック	8名	事業委員・最先端品質部会員・ 病院側・担当者	県立6病院
9月28日	三役会議	4名	会長・副会長	協会2F 会議室
10月2日	貯水槽清掃講師部会会議	3名	講師部会	協会2F 会議室
10月3日	第11回交流野球大会	120名	会員	西原マリノパーク
10月5日	平成27年度労働安全衛生大会	110名	会員・組合員・非会員	浦添市産業振興センター
10月6日	平成27年度ビルクリーニング技能検定 補足講習会	34名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
10月16日	第5回総務・経営委員会	4名	会長・委員	協会2F 会議室
10月26日	平成28年度入札陳情要請(沖縄県)	10名	県管財課・病院課・県警	県庁・県警本部
10月28日	清掃作業従事者研修講習会(那覇)	18名	講師・受講者	九州沖縄トラック研修会館
10月30日	第2回親睦ゴルフコンペ	28名	会員	那覇ゴルフ倶楽部
11月5日	平成28年度入札陳情要請(那覇市)	11名	市管財課	那覇市役所
11月8日	平成27年度第2回ちゅうら島全県一斉清掃	142名	会員・賛助会員	八重瀬町
11月13日	貯水槽清掃作業従事者研修会	78名	会員・一般	浦添市産業振興センター
11月17日	第11回環境衛生シンポジウム	150名	会員・一般	県立博物館・美術館講堂
11月24日	平成27年度ビルクリーニング技能検定 直前講習会	34名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
12月4日	第5回総務・経営委員会	7名	会長・委員	協会2階 会議室
12月4日	第16回ボウリング大会	64名	会員	アークボウル
12月9日	第4回広報・交流委員会	4名	委員	協会2F 会議室
12月10日	内閣府沖縄総合事務局へ陳情要請	6名	3役・理事	沖縄総合事務局
12月14日	第6回理事会	14名	会長・理事・監事	沖縄県卸商業団地組合 会議室
12月24日	3役・各正副委員長会議	15名	3役・正副委員長	ネストホテル那覇
1月28日	平成28年新春懇親会	130名	会員・賛助会員・来賓	ホテル日航那覇グランドキャッスル



現場で働く皆さんの生のお届けします。質問内様は
 ①入社して何年目ですか？
 ②現場での苦労は？
 ③今後の抱負は？

第一総業株式会社

①外勤班主任 山城直子
 (入社十四年目) 他三名

②私達は、主にマンションの清掃に従事しております。建物周りの清掃では風の強い日は落ち葉が多くさん落ちてきて清掃するのに苦労しています。又、建物内では共用部の廊下、階段、エントランスホ



ールなどを中心にお客様の通行の妨げにならないよう注意しながら作業を行っています。清掃中、お客様からいつもきれいにしてくれて有難うという言葉いただくのととてもやりがいを感じます。
 ③今後も、体調管理に気を付けながらお客様に喜んでもらえるよう皆で頑張っていきたいと思っています。



日本総合整美株式会社

①イオンモール沖縄ライカム
 清掃責任者 古謝雄作 他七名
 今年で9年目になります。

②私は、昨年4月にオープンしたイ

オンモール沖縄ライカムにて清掃責任者として従事しています。イオンモール(株)として沖縄初出店ということと、県内最大の商業施設ということもあり地域の皆様から多大な注目と期待がよせられていました。
 立ち上げ時には清掃未経験者も多く、不安もありましたが、NSグループ一丸となり、応援者、常駐者が昼夜を問わず尽力いただいたおかげで、無事オープンすることができたと強く感じました。

③今後もお客様が快適でお買い物できる環境づくりを徹底し、従業員一同笑顔で清掃業務に励みます。



◆◆◆会員動向◆◆◆

【代表者変更】

アクト総合サービス株式会社
 新/代表取締役社長 伊地 保雅
 旧/代表取締役社長 東 充秀



◆◆◆編集後記◆◆◆

今年の冬は寒暖の差が大きく、衣替えをしたタンスの中は冬物一色とはいかず、バリエーション豊かになっております。
 さて、今年の干支は「申年」となっており、「猿も木から落ちる」ということわざがあります。
 意味は「その道に長じた者でも、時には失敗をすることがある」というように慣れた事こそ過信せずに取り組む事でよい結果につなげ、より良い年となりますようお願いばかりです。



◇発行責任者 新垣淑典
 (二社) 沖縄県ビルメンテナンス協会会長
 那覇市曙二丁目二十七番十四号
 電話〇九八(八六一)二七四二